

令和7年度 宮城県松山高等学校「志教育」年間指導計画【家政科】

3つの視点			かかわる	もともる	はたす	かかわる	もともる	はたす	かかわる	もともる	はたす	かかわる	もともる	はたす	
各教科指導目標	国語	◎	○	地理歴史	○	公民	○	○	数学	○	○	理科	○	◎	
	文学作品の朗読や鑑賞を通して国語の知識を探究する姿勢を涵養し、恒常的な学習習慣を身に付けさせ、語彙力等の基礎学力の向上を図る。			わが国及び世界各国の歴史・文化・風土を尊重しながら、異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するような資質を養う。			複雑な社会の仕組みを考察し、先哲の考えを取り入れながら、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。			数学的活動を通して、事象を考察し表現する能力を高め、数学的根拠に基づいて判断する態度を養う。自ら課題解決に取り組む姿勢を滋養する。			日常生活の中にある疑問に目を向け、各分野の知識・技能を参照しながら的確な判断をし、問題解決する姿勢を育てる。		
	保健体育	◎	○	芸術	○	○	外国語	◎	○	家庭	◎	○	情報	○	
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたる健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。また安全を配慮できる能力を育成する。			芸術の幅広い学習活動を通して、他者（個人、世界各国の芸術等）の価値観や個性を認め、理解することができる柔軟で豊かな情操を涵養する。			外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、言語活動及び統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。			家庭生活にかかわる知識や自立に向けた技術の習得を通して、生涯を見通して課題を解決する能力と実践的な態度を養う。			コンピュータ操作の基本を習得させるとともに、情報リテラシーや倫理に関する問題に触れて情報化社会でのモラルを身に付けさせる。		
	商業	○													
社会人としてのマナーや態度を身に付けるとともに、実生活におけるビジネスの関わりについて考察する能力を育成する。															
学年共通				かかわる	もともる	はたす	各学年指導目標								
指導内容	①思いやる心、感謝の気持ちの育成	◎	○	1年	①進路目標の早期確立等、高校生活における「目標ある生活態度の育成」を目指し、手帳を活用してスケジュール管理を行えるよう促す。 ②欠席・遅刻・早退の防止等、「基本的生活習慣の確立」を目指す。 ③家庭学習の奨励、定期考査への重点的取り組みによる「学力の向上」を目指す。 ④スマートフォンの使用規範の徹底やSNSのルールの遵守の定着を目指す。										
	②何事にも誠実、規律遵守の徹底	○	○		◎										
	③基本的生活習慣の育成	○	◎	2年	①「目標ある生活態度の育成」のため、手帳を活用したスケジュール管理を行えるように促す。 ②欠席・遅刻・早退の防止等、「基本的な生活習慣の確立」を目指す。 ③家庭学習の奨励、定期考査への重点的取り組みによる「学力の向上」を目指す。 ④スマートフォンの使用規範の徹底や、SNSとの付き合い方を見直し続ける態度を育てる。 ⑤探究活動・自分の進路・日本の文化や歴史・平和の学習を通して、問いを作り深く考える力を身に付けることを目指す。										
	④礼儀作法、端正な服装頭髪の徹底	◎	○												
	⑤基礎学力の定着		○	3年	①「目標ある生活態度の育成」のため、手帳を活用したスケジュール管理を行えるように促す。 ②欠席・遅刻・早退の防止等、「基本的な生活習慣の確立」を目指す。 ③家庭学習の奨励、定期考査への重点的取り組みによる「学力の向上」を目指す。 ④スマートフォンの使用規範の徹底や、SNSとの付き合い方を見直し続ける態度を育てる。 ⑤探究活動・自分の進路決定過程を通して、問いを作り深く考える力を身に付けることを目指す。										
	⑥全校朝読書の徹底		◎												
指導内容				ねらい			指導教科等		実施時期		時数		かかわる	もともる	はたす
1年	新入生オリエンテーション			学習習慣・意識・生活状況を振り返り、高校生活の意義を考え、目標を立てる。			特別活動		4月		1			○	
	学校家庭クラブ			生活の中にある課題の解決を通して、問題解決能力や実践的態度を育成し、社会参画や勤労への意欲を高める。			家庭総合		5・9月		2		◎		◎
	福祉学習			障害者の困難を理解し、自身が何ができるのかを考えて、行動できる人間を育成する。			特別活動		6～12月		4		○		○
	家政科講演会			生活産業分野の専門家の講話を聞き、専門職についての興味・関心を高め、生活を豊かにしていく姿勢を養う。			生活産業基礎		11月		1		○	○	
	校内合同企業説明会			様々な企業の方々から直接説明を受けることで、職業観を育成しながら、将来を見据えた学校生活や学習への意欲向上につなげる。			学年行事		11月		4		○	◎	
	ちゃれんじ松高生			さまざまな活動を通して、人との関わりや自己研鑽能力を高め、今後の学校生活に生かしていく。			学校行事		3月		20		◎	○	○
2年	主権者教育			18歳選挙権について学ぶことで、政治的リテラシーなどの主権者意識を育む。			特別活動		4～11月		3		◎		○
	進学・就職に関するガイダンス			2学年で行う進路活動について知り、進路意識を高める。			特別活動		5月		1			◎	○
	学校家庭クラブ			生活の中にある課題の解決を通して、問題解決能力や実践的態度を育成し、社会参画や勤労への意欲を高める。			課題研究他委員会活動		5・9月		2		◎		◎
	インターンシップ			職場体験学習を通して、コミュニケーション能力や勤労観及び職業観を育成する。			課題研究		6～8月		24		○	○	◎
	家政科講演会			生活産業分野の専門家の講話を聞き、専門職についての興味・関心を高め、生活を豊かにしていく姿勢を養う。			課題研究		11月		1		○	○	
	校内合同企業説明会			複数企業から直接職種や福利厚生などの説明を受けることで、進路決定が身近に迫っていることを実感させながら、進路目標をしっかりとらせる。			特別活動		12月		7			◎	
	探究・研究活動			自らの興味関心に基づき、調査・実験・発表等の活動をし、その成果から進路決定の一助とする。			課題研究		通年		20		○	◎	
	ちゃれんじ松高生			さまざまな活動を通して、人との関わりや自己研鑽能力を高め、今後の学校生活に生かしていく。			学校行事		3月		20		◎	○	○
3年	地元企業見学会			地域貢献のできる人材育成の為、地元企業の製品や工程を実際に見学する。			特別活動		5月		3			○	○
	キャリアプランの作成			これまでの進路学習の成果をまとめ、希望の進路を実現していくスケジュールを立てる。			特別活動		5月		2			◎	
	進路別ガイダンス			自分の進路に合わせた具体的な説明により、進路意識の高揚を図る。			特別活動		5～10月		8			◎	
	オープンキャンパス及び職場訪問			希望進路先を訪問し、最終進路設定の参考にする。			特別活動		7月		4			◎	○
	家政科講演会			生活産業分野の専門家の講話を聞き、専門職についての興味・関心を高め、生活を豊かにしていく姿勢を養う。			課題研究		11月		1		○	○	
	社会人基礎講話			仕事をする上で必要とされるマナーについて学び、社会人としての心得を身につける。			課題研究		12・1月		5		○	◎	○
									合計時数		133				